



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-6591 東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー3-5 階

電話：03-5550-2400

担当者の所属・氏名

聖路加国際大学 附属クリニック 予防医療センター 一般内科 木村武志

【研究責任者】

聖路加国際病院 附属クリニック 予防医療センター 一般内科 木村武志

予防医療センター1日人間ドック受診者の方を対象とした がん発症リスクに関する研究

1.研究の対象

- ・2015年10月5日から2023年3月31日までに予防医療センター1日人間ドックを受診された方
- ・上記期間で「健診後の余剰検体保存と研究利用へのご協力をお願い」（15-R006）について検体の研究利用に同意された方

2.研究の目的・方法

がんは我が国においても世界各国においても死亡原因の上位を占める疾患であり、がんへの対策は人類の健康にとって大きな意義があります。発がんに関連する要因として遺伝的要因、大気汚染、化学物質への曝露、日光・紫外線への曝露などの環境要因、ピロリ菌、B型・C型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルスなどの感染症、食事、喫煙、アルコール、運動、肥満の有無などの生活習慣が挙げられますが、世界各国・地域の生物学的要因（人種）、社会経済的要因によりその影響の程度は異なっており、国際的な比較検討が必要です。

今回、予防医療センターの1日人間ドック受診者データ、及び保存検体を用いた世界保健機構（WHO）の下部機関でがん研究の専門機関である、国際がん研究機関（International Agency for Research on Cancer: IARC フランス、リヨン市）IARCの一部門であるNutrition and Metabolism branch（NME:栄養代謝部門）との共同研究として、わが国における各種がん発症リスクや生活習慣と血液中の代謝物の関連・特徴について明らかにすることを目的としております。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく診療録（カルテ）に記載される内容および、保管中検体についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年6月19日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：予防医療センター受診時に研究用の検体保存に同意された方について回収・保存された検査後の余剰血清サンプル
- ・情報：性別、受診時年齢、身長、体重、既往歴、家族歴、一般検査、各種画像診断、問診票で収集された生活習慣（喫煙、飲酒、運動、食事など）等

4.外部への試料・情報の提供

対象症例の血清サンプルを共同研究組織である、IARCへ輸送し、各種代謝物の測定を行います。サンプルデータの提供は、個人を特定できる情報を切り離れた状態で提供し、関係者以外がアクセスできない状態で行います。識別コードと元データのリストを作成の上、個人が特定されないように当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

World Health Organization - International Agency for Research on Cancer (IARC),
Nutrition and Metabolism branch (NME).

Branch head: Dr. Pietro Ferrari